

だから、命を守る

あさか 由香

参議院神奈川



3児の母

待機児童 経験者

教育費高すぎて
家計悩んでいます

元システム
エンジニア

横浜市鶴見区出身

好物は
ニュータンメン

筑波大学卒業

高校時代の夢は
貧困と戦争をなくすこと

憲法9条を
世界に広げたい

大学の学費は
バイト5つ掛け持ちと
奨学金でなんとか
払っていた

ASAKA YUKA'S PROFILE

あさか由香って
こんなひと!

すべての子どもが夢をあきらめなくていい社会へ

「どの子も天までのびる」という言葉は、事故で亡くなった母が生前に口癖のように言っていた言葉です。母は保育士としてどんな子も果てしない可能性があると思っていて子どもと接していました。今は、私も3人の子どもを育てる母となり、その言葉の大切さを身をもって感じます。他者との競争に常にさらされ、自信をなくし夢をあきらめさせていくような社会ではなく、一人ひとりが自分に誇りを持ち、自分の可能性を広げることができる社会を作りたいです。

だから、命を守る

2001年、ニューヨーク州立大学留学中に、誕生日祝いに来てくれた母、兄、妹を自動車事故で亡くしました。大切な人の死は、20歳の私には到底ひとりで抱えきれるものではなく、何度も死にたいと思いました。その度に、**周りの大人や友人たちが必死に私の命を守ってくれました。**この24年間、大切な人の喪失を考えない日は1日たりともありません。**ずっとずっと命について向き合ってきたからこそ、あなたの命、そして生活を守りたいと心の底から思うのです。**

8時間働けばふつうに暮らせる社会、その先へ

朝9時から18時まで仕事をして、保育園に迎えに行き、食事、お風呂、宿題、寝かしつけ。8時間労働でも、毎日に余裕がありません。**既にヨーロッパでは週休3日や1日6~7時間労働が始まっています。**実現不可能なことではありません。74年前に共産党が政府答弁を引き出した「**学校給食無償化**」は、この春ようやく自民・公明・維新の3党が合意しました。私は国会に行き、**8時間働けば普通に暮らせる社会のその先の提案をリードしたいのです。**

憲法9条をいかに、平和な世界を目指す

きっかけは高校生の時。広島に行ったことがないからという軽い気持ちで行った「**原水爆禁止世界大会**」で、世界中の高校生たちが平和について議論する姿を見て、平和への想いを強くしました。その後、**20年以上平和活動に携わってきました。**国連憲章を一致点に対話外交を積み重ね、**東アジアでの平和の地域協力の枠組みを発展させます。**

私も以前は、「そんなの自己責任」って思っていました

仕事終わりに鶴見駅に立って、市民の方のお話を聞いていた時に、**所持金60円の20歳の女性と出会いました。**彼女は、埼玉の家から**DVを逃れ、泊まる場所もなく、熱も出ている状態**でした。必死に生きる彼女を見て「**自己責任ってなんなんだ？**恵まれた環境に生まれ、偉そうに自己責任を説く政治家は、彼女よりも努力してきたのだろうか？」と強烈に怒りを感じました。そんな経験が、自分の考えを見直すきっかけになりました。「**自己責任**」で終わらせない。**政治責任、公的責任を考える必要があります。**



給料アップ
+
社会保障の充実

お米やガソリンなど物価高騰で暮らしが本当に大変です。
若者が高齢者か、減税か社会保障削減かと対立させるのではなく、すべての人の生活を上げてこそ経済の発展がある——これが日本共産党の提案です。

あさか由香



生活支える2本柱を両方引き上げます！

社会保障が削られる「自己責任社会」では暮らしは厳しいまま。政治の責任で引き上げます。

1 公的サービス充実



2 給料アップ

ただちにやります3つの政策

教育は社会の発展に不可欠。医療や年金など社会保障の充実暮らしや命を支えるだけでなく、雇用や消費など地域経済をまわす大きな力に。

1 学費 ゼロ化

- ▼学費ゼロへ今すぐ半額
- ▼入学金ゼロ
- ▼給付中心の奨学金
- ▼奨学金返済は半額に

2 医療費 支援

- ▼18歳までの医療費負担窓口ゼロ
- ▼保険料・利用料の負担増なく介護の充実
- ▼ケア労働者の賃金アップ

3 年金 引き上げ

- ▼物価に応じて「増える年金」に
- ▼最低保障年金を実現

ここがポイント！

自民・公明・維新がすすめる医療費4兆円削減には反対します。社会保障をまもり充実させるのが日本共産党の立場です。

賃上げ政策

- ▼内部留保課税で労働者全体の賃金UP
- ▼中小企業支援とセットで最低賃金UP
ただちに1500円
さらに1700円めざす



小池 晃

賃上げは国の責任で！中小企業を支援して実現します。



莫大なお金！

財源はここに切り込む

年11兆円もの大企業減税や富裕層・大株主優遇税制の見直し、大企業の内部留保の一部に課税、アメリカ製兵器の爆買いなど大軍拡をストップして財源を確保。「将来にツケをまわす」赤字国債には頼りません。

ここがポイント！

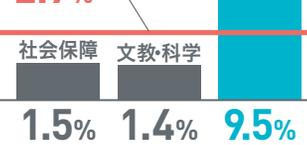
大企業・富裕層優遇政治と巨額の軍事費に切り込まなければ財源は生まれません。



軍事費 8兆円

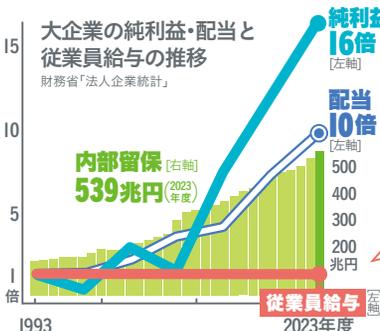
25年度予算案の主要経費別の前年度伸び率

前年物価上昇率 2.7%



社会保障予算は削減、軍事費ばかりが増

大企業内部留保 540兆円



政府の大企業応援政策は賃金にまわらず

このお金を社会全体にまわすことで…

賃上げ・社会保障の充実！ 経済成長につながります！

一部に富が集中する仕組みを変えること。企業の9割を占める中小企業や、労働者や年金生活者、国民全体の所得を引き上げてこそ、生活を支え、経済をまわす好循環を作ることができます。

消費税は

5%に減税！

毎日の買い物にかかる負担を減らすことこそ一番の暮らし応援。消費税廃止をめざし、まずは5%にします。インボイスは廃止へ。



共産党が伸びると…

2本柱で収入が増える

消費が拡大する

企業の収益もあがる

経済の成長へ



あさか由香